

議会報告会結果報告

| | | | | |
|------|--|--------|-------|--------|
| 開催日時 | 平成 29 年 7 月 29 日（土）14 時～16 時 | | | |
| 開催場所 | 大船学習センター 第 1 集会室 | | | |
| 出席議員 | 班長 | 河村 琢磨 | | |
| | 司会 | 前川 綾子 | | |
| | くりはら えりこ | 山田 直人 | 志田 一宏 | 長嶋 竜弘 |
| | 西岡 幸子 | 日向 慎吾 | 河村 琢磨 | 池田 実 |
| | 安立 奈穂 | 高野 洋一 | 納所 輝次 | 永田 磨梨奈 |
| | 久坂 くにえ | 中村 聡一郎 | 前川 綾子 | 伊藤 倫邦 |
| | 吉岡 和江 | 大石 和久 | | |
| 参加人数 | 26 名 | | | |
| 実施概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 6 月定例会の報告 ・意見聴取会（テーマ『観光』） | | | |
| 内 容 | <p>【委員長報告への質疑】</p> <p>Q 1. 深沢 JR 跡地に本庁舎移転の話や、新駅設置の話が聞こえているが決定しているのか？</p> <p>A 1.（建設委員長）どちらもまだ決定していない。話し合いの段階である。</p> <p>Q 2. 公聴会に出席したが、新駅については反対の意見が大きかった。莫大な費用もかかる。メリットはあるのか？</p> <p>A 2.（建設委員長）新駅ありきという事ではない。補助金の活用を含めて、国・県・藤沢市とも話し合いをし、協議していく。</p> <p>Q 3. 情報公開したところ、神奈川県と武田薬品との契約によって新駅設置の話が進められているとしか我々は考えられない。許可は出ているのか？</p> <p>A 3.（建設委員長）先程の回答どおり、まだ青写真の状態である。</p> <p>Q 4. 先般、観光協会への予算 4,600 万円を議会はカットしたが、改選後にまた予算を復活させた。傍から見ていると議会は何をやっているのかとを感じるが、どの様に考えるか？</p> <p>A 4.（総務委員長）補助金を削減させるとは重大な案件であると考えている。これまで議会が求めていた議事録が提出されたこと。今後の体制の刷新、組織運営が適正かつ透明性を保って運営されること。市と観光協会が観光行政の両輪として運営が行われるように改善を求めていく。これらのことが確認されたことから、議会の判断が行われたものとする。</p> <p style="text-align: center;">（観光厚生委員長）花火大会の事業費ではない。人件費である。雇止めの資料が提出されたこと。これから 2020 東京五輪に向けて、観光協会には多くの事業を行う</p> | | | |

ていただかなければならないこと。何よりも公益社団法人は総事業費の半分を公益事業として行わなければならない。この事業費が縮小するという事は、公益事業も縮小になってしまうということなどを踏まえ、委員会としての判断が行われた。

Q 5. 鎌倉歴史文化交流館のタイルは擦りタイルとなっている。これは耐震強度が低いと考えるがいかがか？

A 5. (教育こどもみらい副委員長) 現地を見てきたが、その問題については把握していない。後日あらためて回答したい。

※後日回答

歴史文化交流館の外壁タイルは、1枚の面積が大きいもので、複数のフックでひっかけてある構造です。躯体に接着したタイルがポロポロと落ちるといったようなことはありませんが、ひび割れや傾きを定期的に目視等で点検し、建物の安全管理に努めていくことは必要だと考えます。

《その他、質疑中のご意見など》

- ・ 新駅設置については、武田薬品と県とで確認書をかわしたことについて、鎌倉市が率先して負担することはないと思う。
- ・ それについて、鎌倉市に情報公開請求をしたが、ほとんどが黒塗りでわからない。予算等の部分については見えないと判断できない。
- ・ 藤沢市と鎌倉市では、公開される内容が異なる。情報公開条例に基づいて見えるようにして欲しい。

【意見聴取会での意見】

現状の課題

- ・ 江ノ電の混雑、地元の方が乗車できない。江ノ電が満員で乗れない。
- ・ 外国人観光客のマナーが悪い。
ゴミ、鎌高前の中国人+写真マナー（自撮り）、民家の紫陽花を勝手に採る等
- ・ 家賃が高く、若い人が住みにくい。
- ・ 村岡新駅は大半が反対しお金がかかる。市政は新駅前提でパブコメを行っているが、市民の声は反映されているのか？
- ・ 今の観光客の数からして、世界遺産登録は難しい。
- ・ 病院が老人向け、専門医がない。
- ・ 観光について財政負担をどう考えるのか？
- ・ 観光協会の議事録は、雇止めなどわかり難い。どこで調べたらわかるのか？
- ・ 市長の補正予算の可決をなぜしたのか？納得いかない。
- ・ 行政職員の不正やモラルの低下を考えなければならない。
- ・ 湘南モノレールは市の動脈である。本庁舎移転など、深沢 JR 跡地に係る問題からも、赤字路線であることをもっとしっかりと考えるべきである。
- ・ 新駅は誰が乗るのか？乗る人が少ないと思う。

- ・若い人にツケをまわさない。負担を少なくすることが基本である。
- ・重箱のスキをつつくような議論はもってのほかである。
- ・子ども達が道路にあふれてしまっている。
- ・住民側の理解が必要である。
- ・大きな視点で鎌倉はビジョンを持つべきである。
- ・足の引っ張り合いは良くない。
- ・中路地の通りについては、住民理解が必要である。
- ・既存概念にとらわれない方が良い。
- ・本市の観光事業を担う鎌倉市観光協会が何をやっているのかわからない。
- ・花火大会は発展的解消を図るべき—警備・ごみ・人件費などの課題有り。
- ・外国人観光客に対応できていない。
- ・外国語表記・標識・観光案内所の機能強化など、世界の鎌倉になっていない。
- ・観光客の増加が税収に繋がっていない。
- ・店が替わっていて地場の店、人はどうなっているのか？
- ・鎌倉が本来持っている寺社などの観光資源を大切にすべき。
- ・今は、グルメ、食べ歩きの街になっている。
- ・街が汚い印象。
- ・まちとして統一感がない。
- ・今は、ひとつひとつ個性的ではあるが雑然としている。
- ・小町通りはケバイ!!
- ・車いす等バリアフリーが疎かである。
- ・観光客が黙っていてもくるので、それに甘えて観光政策をしていない。
- ・看板など未整備なところが多い。

今後へのご意見

- ・人と車の問題。ガードレールを増やして欲しい。
- ・障害者にやさしくない。福祉トイレの設置や、ベンチなどを増やして欲しい。
- ・外国人にもわかるような案内など、ホスピタリティに力を入れて欲しい。
- ・禅の体験など、感動のある街として参加型の観光施策が必要ではないか？一歩進んだ鎌倉らしい観光を。
- ・土日の渋滞が激しい。カーフリーデーのようなシステムの導入はどうか。
- ・観光ゾーンの設定を。
- ・鳩サブレ以外の有名なおみやげを増やしたい。
- ・30年、50年後を考えたときに、単独でゴミ処理をどのように進めようとしているのか？
- ・ベビーカーの利用もしやすくなるので、エレベーターを増やしバリアフリーを充実させてもらいたい。
- ・ゴミ対策など、観光客のマナーについては、ポジティブな言葉や御礼の言葉で呼びかけてはどうか？ 「いつもきれいにしてくれてありがとう」など
- ・外国人へ日本のマナーを示す案内をする。(受け入れインフォメーション)

- ・江ノ電の線路への立ち入り問題など、昔から江ノ電と生活を共にしてきた住民の側に立って取り組んで欲しい。市民と住民の間に市が関与して欲しい（住民への対応が悪い）
- ・流行のみやげは鎌倉のものでなく、お金も落ちていない。鎌倉彫など、鎌倉らしいおみやげを盛り上げたい。
- ・インフラ整備を。
- ・観光バスを深沢へ。歩く駅などを造り、鎌倉に集中する観光客を大船方面へ分散させたらどうか？
- ・食べ歩き観光をやめる。ドレスコード観光で、古き良き鎌倉の良さを知ってもらおう。
- ・観光の地域性は鎌倉市内でも異なる。市民意見を吸い上げるようなキャラバンを行ったらどうか？
- ・地下に商店街を作り、上は民地として使ってはどうか。
- ・防災対策として地下に津波避難できる潜水艦方式、シェルターを造る。
- ・鎌倉市民と観光客が Win-Win の関係にあるべき。
- ・渋滞対策、観光バスの駐車場整備など。
- ・本市の歴史文化を象徴する神社仏閣などに対する知識を観光客があらかじめ持つて訪れることができるよう、市としてアピールが必要。
- ・ドレスコードをもって観光してほしい。
- ・観光地としてどうすべきか考える。
- ・深沢再開発用地にバスを集約する。
- ・歩く観光の推進。
- ・人が分散するよう流れを作る。
- ・ゆっくり眺めて鎌倉の良さを知ってもらおう。
- ・宿泊の課題解決。
- ・車から歩く観光へのシフトを。あえて車を通行しにくくしてはどうか？
- ・車いすでの飲食可能なお店などのマップを作ってはどうか。
- ・観光による経済効果をもっと出すように。例えば夜の消費を増やせるようにとか。
- ・修学旅行生が宿泊できるシンプルな旅館を。その旅館には高齢者を雇用する。
- ・観光と食（グルメ）を結びつけるようにする。例えばけんちん汁などの発祥ものを素材に。
- ・自分の足で歩いて市内を見て欲しい。
- ・まちを愛している職員が増えればまちづくりが活性化する。
- ・今日のような聴取会などで、市民みんなで知恵を出し合うようにする。